

相談支援専門員連絡会新聞 第13号 令和5年12月

発行 相談支援専門員連絡会事務局

令和5年10月27日（金）、第3回相談支援専門員連絡会が伊那市福祉まちづくりセンターで開催され、23名の参加がありました。

今回は児童の計画相談をしている事業所と児童の計画に関心のある事業所を中心に行ないました。参加者からは「同じ悩みを持つ人の話を聞いて良かった」「継続的に開催してほしい」との感想やテーマについてのご意見を頂きました。皆さんのお声を参考に来年度の開催を検討したいと思います。



(1) 地域生活支援拠点等整備ワーキンググループ（拠点WG）より

拠点WGで作成した「子どもサービス集約表」を共有しました。

これは、各市町村の子どもに関する支援や制度を取りまとめたもので、障がい児のショートステイが不足する中、障がい以外の分野でも利用できる制度等を確認しようという趣旨で作成したものです。利用に際してはまず市町村と相談していただく必要がありますが、支援を考える際に活用いただくと幸いです。（「子どもサービス集約表」については事務局までお問い合わせください。）

その後、障がい児のショートステイに関するニーズについてグループワークを行ないました。「ショートステイを利用するときは圏域外を利用している」「土、日預かってもらいたいがショートステイ先がなかった」等の意見があり、引き続きニーズが高いことが確認出来ました。今後も拠点WGを中心に、課題の解決に向けて検討や情報の共有を行っていききたいと思います。



(2) 障害児支援計画を見比べてみよう～他の人はどうしているの？～

参加者が持ち寄った計画を基に、困っていることや他の人に聞いてみたいこと等についてグループワークを行いました。

皆さんの意見の一部を紹介します。

○コミュニケーションについて

- ・外国籍の親御さんと通訳を入れてコミュニケーションを取るようになったことで親御さんの意見が聞けるようになった。
- ・県の子どものアセスメント票では使いにくい。良いものがあれば教えてほしい。

○本人の意思確認について

- ・小さいころから支援が固まっていると本人の意見が出されにくくなる。
- ・会議で同意を得られても本人の希望でないことがある。本人が参加できる時に発信をしてもらう機会も必要ではないかと思う。
- ・本人が成長している様子を支援者間で共有していくことで次の支援に繋げていける。

○行政について

- ・行政との役割分担が難しい。児童相談所の役割がよくわからない。
- ・市町村は本人の様子を知らないで支給を決定している印象がある。決まっている枠であってはめないで希望やニーズなどもみてほしい。

相談支援専門員が一人だけの事業所も多い中、疑問や不安を共有できる良い機会となりました。「安心した」との感想も聞かれ、事業所同士が気軽に意見や情報を交換できる場の大切さを改めて感じました。

(3) その他

○お知らせ

・療育コーディネーターについて

きらりあには療育コーディネーター（県の委託事業）が在籍しており、①相談②巡回訪問③研修会開催などの活動をしています。保護者や関係機関で子どもの対応で困っている時などはきらりあにご相談ください。

・Toiro（トイロ）について

Toiroは「個性に合わせた多様な子育て」を応援する信州大学医学部子どものこころの発達医学教室の本田先生が中心となって作成をされたアプリです。保護者と共通認識を持つ為のツールとしてぜひご活用ください。



・第4回相談支援専門員連絡会

12月25日（月） 13:30～15:30 宮田村民会館 第3、4研修室
＜内容＞ 地域生活支援事業を中心としたサービスの説明（仮）
グループスーパービジョン

○ご意見

参加者から医療的ケア児コーディネーターの設置について上伊那でも積極的に進めて欲しいとのご意見がありました。市町村とご意見を共有したいと思います。

* 第2回事業所見学会を開催しました *

11月17日（金）に第2回事業所見学会を実施しました。

就労継続支援A型事業所3ヶ所【こころ（飯島町）、ひだまり中川、和（飯島町）】の見学会を行ない、7名の方が参加しました。どの事業所も丁寧に説明いただき、参加者も活発に質問をしていました。

利用者が自分の役割を理解して積極的に働いている姿を見て、前回見学したB型との違いを感じることができました。

今年度の事業所見学会は全2回終了しましたが、連絡会の中で「事業所の見学をしたい」「放課後等デイサービスを見てみたい」とのご意見もいただいていますので、来年度も継続的に開催できるよう検討していきます。「ここの事業所を見学したい！」「就労移行を見てみたい」等見学に関するご希望がありましたら、事務局までお寄せください。

編集後記

今回の連絡会は児童の相談支援事業所を中心として開催しました。連絡会で今後取り組んで欲しい企画等ありましたらお知らせ下さい。

事務局 上伊那圏域障がい者総合支援センター

担当者 東松、松下

TEL (0265) 74-5627

FAX (0265) 74-8661

e-mail: ksc@ar.wakwak.com